



子どもの貧困と 地域のフードバンクができること

— 静岡県の事例から考える子どもたちへの支援

講義内容のトピック

- ✓ 食品ロスの現状
- ✓ 食品流通の仕組みと制度
- ✓ 相談窓口のネットワークの大切さ
- ✓ 若い人がSOSを出しにくい現代の事情
- ✓ 子供のSOSへのアウトリーチ事例
- ✓ 食品ロス削減法からみるフードバンクの必要性



講師

鈴木 和樹

NPO法人POPOLO事務局長
NPO法人フードバンクふじのくに 事務局次長
(一社)全国フードバンク推進協議会理事
島田市地域福祉活動計画策定委員

1981年5月13日生まれ。静岡県静岡市出身。子どものころに生活保護を受給した経験を持ち、祖母と叔母に育てられる。社会に助けられた自分だからこそ、困っている人の役に立つ仕事をしたいと考え、2007年より路上生活者やネットカフェ難民の方々に対して、生活保護申請同行などのボランティア活動に取り組む。その後、2010年に生活困窮者自立支援団体であるNPO法人POPOLOを設立。現在は、NPO法人POPOLO事務局長として、食料支援であるフードバンク活動、生活困窮者の自立支援施設である富士POPOLOハウスの運営、キャリアコンサルタントとして、長期離職者を対象とした応募書類の書き方講座を実施。

『生活保護以外の支援方法が選べる、多様なセーフティネットの構築が必要だ。』が持論。

日時

2月21日(金)

午後**1時30分**～
3時30分

定員：**40人**(先着制)

受講料：**500円**



講座終了後に懇談会(無料)を開催します。

当日は、**フードライブ**も開催します。

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

申込開始 ▶ **1月21日(水)** 午前9時30分～

FAX 0422-40-0314 お問い合わせ電話 0422-40-0313

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル 3階